

あなたにそして自分にも

どんまいどんまい



本気で社員の幸せを 考える経営者になりたい



柴田秋雄理事長

真似
させて
頂きます。♪

福島県の株式会社根本金物の根本社長のお誘いを頂き、柴田秋雄理事長の特別映画上映会と講演会を聞きに福島に行って来ました。

テレビでも放映されていたのを見ていたので、何か私にも真似出来る事が無いか、会場の一番前の席に座り、身を乗り出すようにして聞いていました。

柴田理事長は名古屋駅前の4期連続赤字のホテルを7期連続黒字のホテルに再生した奇跡の人です。

その根本にある考え方は「日本一幸せな従業員をつくる」という独特の考え方でした。

会社の経営ばかり考えている私にとって、まさに目からうろこが落ちるような話でした。

働き方はその人の生き方そのもので、強さよりも優しさを大切にする柴田理事長の人間味あふれる実際に体験された話ばかりでした。

その中で私が思わず涙してしまった映画上映会での話しをご紹介させていただきます。

耳の聞こえない女性のウェイトレスが、背中越しにお客様に水が欲しいと言われます。

女性は聞こえないので、そのまま作業を続けています。

お客様は無視されたと思い腹が立って大声で怒鳴り、それで他のスタッフが気づき女性に伝わります。

女性は耳が聞こえないというメモをお客様にお見せして頭を下げ謝りますが、お客は「なんでこんな人を店に置くのか」と言って帰ってしまいます。女性は耳が聞こえないので、声も出せないでいました。

そんな辛い気持ちでいる女性がまわりのスタッフと柴田理事長の励ましで、自分に生きる喜びを見つけ人前で出せなかった声を出して、笑顔で「ありがとうございました」と言っていました。

今まで自分に自信が無く常に後ろに下がっていた彼女が堂々と大きな声を出せたのは柴田理事長の彼女を思う深い優しさでした。

まさに会社の経営の前にその人の幸せを大切にする柴田理事長の行動は全員の意識を変えて行きました。

従業員一人一人が心から働く喜びを見つけて自分出来る精一杯の働きをするので、赤字から黒字に回復したのも当たり前前の事でした。

タケダの社員が本当の働く喜びを感じられるかどうかは、まさに私が社員一人一人の事をどれだけ本気で幸せにしたいと思って行動に移して行けるかにかかっていると思います。

今年は本気で社員を幸せに出来るように考えて行動して行きたいと強く思いました。

柴田理事長、そしてご招待頂いた根本社長に感謝します。

ありがとうございました。 武田英昭

「どんまい どんまい」

他の月の「どんまい どんまい」を見逃した方は金物ショップタケダのサイトからぜひ御覧下さい。

失敗した時、がっかりした時、つらい思いをした時、落ち込まず再チャレンジ出来る様にとの思いで、あなたと私の心のかけ橋レターを送ります。

毎月1回発行 発行編集責任者 武田英昭 (株)タケダ 山形県山形市あかねヶ丘 3-18-1 電話:023-644-5633 FAX:023-644-5663

金物ショップタケダ: <http://www.ks-takeda.biz/>

